



アダモスニュース 2020 No.3

一般社団法人 医療廃棄物適正処理推進機構 会報



😊 アダモスは、平成30年より、早稲田大学 小野田弘士教授の AI・IoTを
駆使した廃棄物システムの研究に協力中です。◆IoT、AI等の情報特集 5です。

用語解説：IoTってなんだろう アダモス専務理事 石井美也紀

〔No1・2 p4 続き〕IoTにより得られるデータはリアルなデータです。リアルなデータが集まると、現状がわかり、先の予測できます。「見える化」が可能となります。実現し、問題点の把握が早くでき、エキスパートでなくても対応可能となります。

ビッグデータをAI（ディープラーニング等）を活用して分析すると、事故が起きやすい日とか予想できるかもしれません。人類にとってこの情報はかけがえのないものです。

「今」が把握できれば、いろいろな対策が可能となります。

また、VR（バーチャルリアリティ）とか、AR（拡張現実）とか言ったことも可能となり、その場にいなくても作業ができます。（危険を避けることができます）

飛躍的に作業が効率化され、将来の人口減少に大きな手立てになるのがIoT・AIです。

4. IoT・AIの活用で「人の仕事は奪われない」 IoT・AIの活用で、人の仕事がなくなるということを良く耳にします。

AIは人工知能ではありません。ただのアルゴリズムです。人間が利用するだけです。本来すべき仕事や管理が大変で、伝票処理などに追われているのが現実ではないでしょうか？ 10ある仕事で2割が本来すべき仕事、8割が雑多な仕事になっていませんか？

8割をIoT・AIにお願いして、本来すべき仕事をすればいいだけだと思います。次頁へ



前頁の続き；仕事はなくなりません。（やるべきことができていない現実）IoT・AIを活用することで、社会はもっと良くなることは間違いありません。人間として自信をもって利用すればいいのです。

5・おわりに

わかったようなことを記述してきましたが、私が長い間、コンピュータに携わってきた経験から発するものです。あくまでも経験談で専門家の方々からお叱りを受けるかもしれませんがご容赦ください。（この項・終わり）

◆ アダモス 石井専務理事の著書が発行されましたが、

Amazon 産業廃棄物・公害関係 売れ筋ランキングで、第3位を記録しました。

産業廃棄物革命

～IoT化でさらに進む産業廃棄物の世界

石井 美也紀 著 / (株)イーシス社長、アダモス

（一般社団法人 医療廃棄物推進機構）専務理事

発行:ダイヤモンド・ビジネス企画

発売:ダイヤモンド社 定価:本体1,500円+税

発行:2019年12月 頁数:184

- 第1章 適切な処理を行ったはず?! なのになぜ?
- 第2章 産業廃棄物のコストパフォーマンスを上げるにはシステムが鍵
- 第3章 ソリューションとしてのIoT
- 第4章 トレーサビリティシステムを利用した各業種の事例
- 第5章 今後どうなるのか、どうするか



◆ 一般社団法人 医療廃棄物適正処理推進機構/アダモス 役員

理事長 田島知行 医師・元日本医師会廃棄物担当常任理事
市川クリニック院長

専務理事 石井美也紀 伊丹重貴 名誉理事 福田弘之

理事 新井秀明 岩澤敏治 冲永佳史 帝京大学グループ理事長

金原暁治 中嶋達夫 朝倉真人 鬼頭 淳

監事 長谷川福重 長谷川会計事務所所長・公認会計士



一般社団法人 医療廃棄物適正処理推進機構 (ADSMOS ; アダモス)
〒160-0004 東京都新宿区四谷3丁目2-3 TRIIビル2階
電話 03-5368-0391 FAX 03-6457-4610
Mail ; info@adamos.jp

※ 詳しくはHPをご参照ください。 HP:<http://adamos.jp/>

